

# 令和5年度 両荘中学校 学校評価

A できている B だいたいできている C あまりできていない D できていない

領域	評価項目	評価	自己評価の顕著な結果・意見等	学校関係者からの意見	改善策
学力向上	「学習意欲を高めるためのわかる授業づくり」	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Chromebookをよく活用していると答えた生徒が増えている一方で、そう思わないと答えている生徒も増えている。chromebookを授業の中で積極的に活用する。</li> <li>・授業は楽しくわかりやすいという項目について、前回と今回のアンケート結果では、平均90%は肯定的な意見が継続されている。多くの生徒が意欲的に取り組み、先生方の工夫や学級づくりなど、人間関係の構築が土台にある。</li> <li>・中間アンケートに比べ、授業などの学校内の取り組みについては保護者も生徒も比較的満足している意見が増えているように感じる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・工夫した授業づくりをされており、生徒が楽しく学習できるなど、成果あっている。</li> <li>・ICTの活用は学校はもちろん、社会でも必須となっており、多様化、高度化している。そのため先生方の研修等の充実を組織的に進めていく必要がある。</li> <li>・保護者の満足度が低い理由として、家族内、親子のコミュニケーション不足と、学校への期待の表れである。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・Chromebookの教科ごとの活用方法などについての研修を積極的に進めていく。現状維持ではなく、向上心をもちスキルアップに努める必要がある。</li> <li>・少人数で授業できている強みをもっと活かしていき、継続して取り組んでいく。各教科で教材研究で参考にした資料を紹介しあう。</li> <li>・小中一貫校になるうえで、授業だけでなく、休み時間など、様々な場面で幅広い学年と関わっていく。</li> </ul>
	「自主的・主体的な学習習慣と基礎学力のための家庭学習の定着」	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・宿題や予習復習等、家庭学習を大切に思わない生徒が2割近くいる。</li> <li>・授業への意欲が増している一方で、学習意欲の低下が気になる。</li> <li>・授業はたのしくわかりやすいという項目について、前回と今回ともに90%は肯定的な意見が継続されている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分たちで考えて、今の現状を見直すことができるからこそ、新しいルール作りが時代に合った形でされている。</li> <li>・授業は楽しくわかりやすいにもかかわらず、家庭学習を大切にしない生徒が多い理由として、保護者の考え方が影響している。</li> <li>・家庭学習の定着のために何ができるかを考え実践してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校で学んだところを復習することで学力向上につながることを繰り返し伝えていく。家庭学習をするような環境づくりを行う。</li> <li>・Chromebookを家庭学習で活用したり、調べ学習に活用できるように宿題などを出すようにしていく。</li> <li>・多くの生徒が意欲的に取り組み、先生方の工夫や学級づくりなど、人間関係の構築が土台にあるので継続していく。</li> </ul>
規律ある生活	「望ましい生活習慣の育成」	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・各学年ともほとんどの生徒が規則正しく生活できている。</li> <li>・「あいさつ」や「決まりやマナーを守ること」は生徒・教職員共にほぼ定着している。</li> <li>・子供と保護者の関係性が良好な生徒が多く、様々な話をしている。その中で、教師に相談する選択肢が8割を超えている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・あいさつは大きな声でしっかりできている。地域の方にも積極的に挨拶することができている。</li> <li>・年齢に応じた行動指針と自立性を育てられている。</li> <li>・いい意味で先生との距離が近く、相談しやすい雰囲気は安心できる。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・次年度以降、校則が緩和され、生徒の選択肢が増え、より家庭での自立、自律が必要になってくる。</li> <li>・両荘みらい学園開校に向けて、学校が1枚岩になって柔軟に対応していくことで、今回以上の数値が得られる。</li> <li>・春からは小中一貫校として、これまで以上に家庭と連携を意識し、協力していただく。</li> </ul>
	「生徒理解と信頼関係づくりのための相談活動や個別指導の充実」	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・自分の意見が言いやすいと思う生徒が増えている。1年間の中でそれぞれのクラスがよい雰囲気を作れている。</li> <li>・ほとんどの生徒が、相談できる人が近くにいて、力になるとあるが、約10%の生徒が相談できる人がいないと回答している。</li> <li>・将来について考えることができない生徒が多い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・先生方が生徒を信頼して、一緒に学校での生活や自分の将来について考えていると感じる。</li> <li>・多くの生徒が相談できる人は身近にいると答えていることが評価できる。先生方からの積極的なアプローチを継続してほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・その一方で、そうでない生徒もいるので、個別で話を聞いたり、学年を超えて教師間で共有したり、通信等を用いて、学校の様子を発信する機会を増やす。</li> <li>・相談しやすい環境を整えておく必要がある。生徒と会話する時間を増やすことと、生徒の居場所づくりに努める。</li> <li>・非自律型・認知スキル型生徒の教育ではなく、自律型・非認知スキル型生徒の育成に努める。</li> </ul>
	「行事や部活動による良好な人間関係づくり」	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事と成長に関しても依然として高い数値であり、行事を通して保護者や地域の方からの信頼を学校として得ている。</li> <li>・楽しく学校に通っているかという質問について、10月と比べると大きな行事の少ない現在は低下している。</li> <li>・小学校時代から同じメンバーということもあり、同学年はもちろん、学年を超えても仲の良さを感じている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・小人数学校、学級の色を生かして、行事や部活動により、良好な関係が築かれていると思われる一方、何をもち、地域からの信頼を学校に得ていると評価されているのかわからない。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・否定的な意見の保護者は、子供の様子からそう判断しているのか、または、自身の考えなのか、親の考えは子供に強く影響を与える。</li> <li>・普段の授業などを楽しいと思ってもらえる工夫が必要であるためICTを駆使するなど改善が必要である。</li> <li>・9学年となり、後期課程の生徒たちの意識をより高く育てていく。</li> </ul>
豊かな環境	「道徳の授業と人権教育」	B	<ul style="list-style-type: none"> <li>・人権や道徳教育をさらに重要視したい。</li> <li>・特別支援教育の充実</li> <li>・道徳教育の推進についての評価が低い。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・頭髪の自由化など、これまでの経過の中でも規則と個人の尊重が大切にされていたように、今後も子どもたちへ大切な道徳や倫理観を育ててほしい。</li> <li>・自分の意見を素直に言える、また、自分が必要とされていると感じる居場所づくりに向け引き続き取り組んでほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・勉強が苦手でも、道徳では自分の意見を発言でき、輝ける子がいる。居場所づくり、クラス作りにもつながってきて、意見の言いやすいクラスになる。</li> <li>・9年生までの子どもと関わり、受け入れる側として事例研修や情報共有など年度初めにする必要がある。</li> <li>・道徳に関しては時間の確保はできているが、資料に関して、評価の関係で教科書が多いことを改善していく。</li> </ul>
	「心和む美しい学校を目指した環境づくり」	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新校舎への工事が進む中で、教師、生徒が環境づくりに努めた。</li> <li>・居場所づくりを意識した生徒指導が中間結果に比べほとんどの先生方ができていると思われる。</li> <li>・小さい学校なので、学年を超えて全生徒に対応していく。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・新校舎建設のために多くの制約がある中、生徒の居場所づくりを意識した取り組みが評価できる。</li> <li>・居場所づくりを意識して誌指導できている。今後も継続し、心和む学校づくりに努めてほしい。</li> <li>・新しい学校を子どもたちが自分たちで作っていくといった意識が芽生えていることが頼もしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・来年度は、両荘みらい学園となり、小学校の先生と価値観を共有し、活かせるところをたくさんシェアしながら助け合っていく。</li> <li>・学校に行きにくいという意見もあるので、もっと居心地が良い場所を提供できるように、授業をはじめ改善を意識していく。</li> <li>・風通しのいい組織で、何があっても絶対に大丈夫という安心感の中で全員が働ける職場づくりに努める。</li> </ul>
信頼される学校	「学校生活の公開と広報活動の充実」	A	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校行事に参加する保護者も多いことから、子供と同じ時間を共有でき、家庭での会話も増え、成長を感じる機会も多いのではないかと。</li> <li>・家庭で学校での出来事などを話す場面が減っている。だからこそ、通信などで学校から生徒の様子を発信する必要がある。</li> <li>・地域の行事などにも積極的に参加できている。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・保護者に対する広報は評価できるが、地域への公開やアプローチの方法にはまだ検討の余地がある。みらい学園の開校にあたり、学校家庭地域の連携を一層深めてほしい。</li> <li>・学校行事をHP等でもっともっと発信してほしい。学校、保護者、地域が一体となり、心豊かな生徒の育成に努めてほしい。</li> </ul>	<ul style="list-style-type: none"> <li>・学校の指導方針や取り組みについて、ホームページや学年の通信などでさらに発信していく。</li> <li>・業務改善もうたわれる中で、学級通信の量は減ってはいるが、ICTを使った毎日の予定は充実しているので発信の仕方を工夫する。</li> <li>・クラスや所属学年だけでなく3学年全体を意識し、地域とも連携しあって、いじめや不登校を出さない未然防止の意識を高く持つ。</li> </ul>